

Sclean volume 30\*

Kanagawa Coastal Environmental Foundation



公益財団法人かながわ海岸美化財団

### 相模湾のマイクロプラスチックの現状は？

近年、国際的な環境問題になっているプラスチックごみによる海洋汚染。世界の海には、年間800万トンものプラスチックごみが流出し、2050年には海のプラスチックごみの量は、魚の重量を上回るとも言われています。中でも、5mm以下の微細なプラスチックはマイクロプラスチック（以下「MP」）と呼ばれ、大きな関心を集めています。

それでは、そもそもMPの何が問題で、神奈川県のMPの現状はどのようなものなのでしょうか。

2017年から相模湾のMPを調査している神奈川県環境科学センターに伺いました。



### MPの問題と懸念点



MPは、環境中に出てしまうと回収が困難です。小さくなってしまっても存在が消えるわけではなく、長く環境中に存在し続けています。

また、MPの原料は石油であり、油と馴染みやすい性質を持っているため、過去に海洋中に流出した有害な化学物質を表面に吸着しやすく、海面を漂うMPによってそうした物質が遠くまで拡散してしまうと言われています。

そして、魚などがエサと一緒にMPを取り込み、より大きな魚や鳥などが捕食することで、食物連鎖による有害化学物質の生物濃縮が進み、人間にも悪影響を及ぼすのではないかと懸念されています。

### 海岸はMPの製造現場

海に浮いているプラスチック片は、潮の満ち引きと波によって、海と陸を行き来し、海岸に打ち上げられたときに紫外線によってもろくなり、細かくなっています。いわば海岸はMPの製造現場と言えます。

しかし、ある程度細かくなったMPは、海岸にあまりとどまることはなく、海へと流れ出でていってしまうことも分かってきました。

そのため、海岸のMPは海上のMPに比べて、サイズの大きいモノの比率が高くなる傾向にあります。



### 特徴的なMP① [微小発泡ポリスチレン球]



0.8～1.5mmほどの発泡ポリスチレンの小さな球は、ビーズクッションの封入材であることが分かりました。こうした発泡ポリスチレン球を製造している事業所は、関東地方にはないため、海岸に漂着したものは事業所からではなく、製品から漏れ出た可能性が高いと考えられます。

漂着量は調査のタイミングによって大きく変動し、散発的な大量漂着が確認されました。これはビーズクッションの廃棄によって引き起こされると推定しています。長さ15cm程度の小さなクッションでも約50万個の封入材が入っているため、廃棄の過程で外皮が破れただけで大量の封入材が環境中に漏れ出てしまいます。

## 相模湾のマイクロプラスチック調査で分かったこと

### 特徴的なMP② [緑色へら状MP]



家庭用の人工芝や玄関マットの破片と思われます。散発的な大量漂着はみられず、全体の3~10%に相当する量の漂着がいつ行っても確認できました。

屋外の使用が前提だったり、靴底で擦られたりするので、破断が起こりやすく、それらの破片が降雨時に雨水側溝に流れ込み、最終的には海に出ていくと考えられます。

### 特徴的なMP③ [中空球状MP]

特徴的な形状と材質から、これは樹脂系被覆肥料の被膜殻であることが分かりました。樹脂系被覆肥料とは、ボールの中の肥料が被膜を通して少しずつ外側へ溶け出していくもので、施用回数が年1回で済むため近年使用量が増えています。

漂着の時期と地域に大きな偏りがあり、5月下旬の小田原市山王網一色海岸では全体の91%をこのMPが占めていました。これは、前年の田植え後、水田にまいた肥料が水田土壤中に残留し、その年の田植え前に代掻きを行ったとき、この残留した肥料の被膜殻が水路を通じて川に流出し、海岸に流れ着いたのではないかと考えられます。

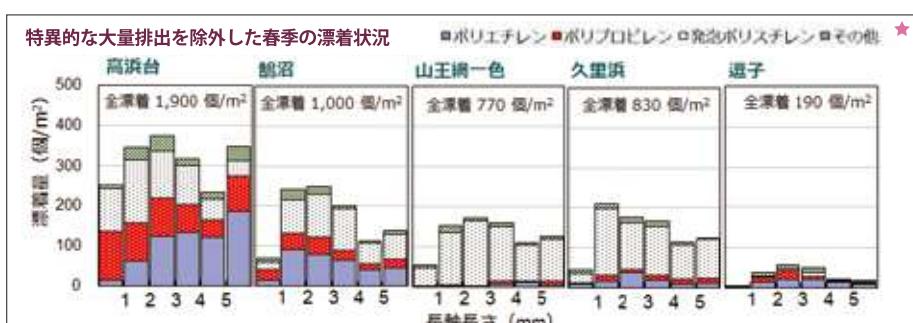


### 特徴的なMP④ [樹脂ペレット]



樹脂ペレットは、プラスチック製品をつくるときの原料です。20年ほど前から海岸への漂着が指摘されていて、発生源は、プラスチック成型事業所やペレットの輸送過程でのこぼれが原因であることが既に分かっています。業界団体による漏出防止対策が呼びかけられているものの、漂着ペレットの中には、新しいものが多数含まれていることから、漏出が継続していると考えられます。

## 相模湾のMPの主な由来は河川



海岸のMPが、海流に乗って遠くの海から運ばれてくるとしたら、どの調査地点も似たような漂着状況になるはずです。しかし相模湾の海岸で調査したところ、黒潮の流入がない場合

は海岸ごとにMPの漂着量や種類が異なっていることが分かりました。つまり、相模湾の海岸のMPは、川を通して、内陸部から流れ出しているのがかなり多いと考えられます。

### まとめ MPは足元から

MPは、使い捨てのプラスチックがポイ捨てされたものだけでなく、私たちが普段使用している製品も発生源となることが分かりました。あらゆる生活の場面から故意でなくともMPは発生し、私たちの足元から海へと流出していきます。

これらは目にみえないくらいの微細なMPになって私たちに戻ってくるかもしれません。これ以上MPを増やさないためには、身の回りのプラスチックのことを考え、生活全体から見直すことが大切です。

神奈川県環境科学センター

2017年度から、相模湾沿岸のマイクロプラスチック汚染の実態を明らかにするための研究に取り組んでいます。これまでに公表した研究成果は右記QRコードからご覧ください。



## 海岸清掃事業 概要

令和3年度は、ごみの多い年でした。前年度に周期的に襲来していた春の嵐が新年度になっても続き、清掃してもすぐに新たなごみが漂着しました。5月から10月まで、海岸各所でバーベキューごみの放置が例年以上に目立ちました。夏は、7月の初頭と8月のお盆の二つの豪雨により、海岸に大量のごみが漂着しました。秋は、10月に台風16号が襲来、11月と12月の初頭に大雨が降り、それらのごみの回収に追われました。その後は、3月まで天気が非常に安定し、ごみの少ない冬となりました。



## 1年間の海岸状況

### 4月 前年度から春の嵐が続く



前年度の2月に、発達した低気圧が本州南岸を通過した影響で関東は春の嵐となり、それまでキレイだった海岸が一気にごみだらけになりました。その後も3月は、13日、21日、28日と毎週のように春の嵐が襲来し、その度に大量のごみをもたらしたため、令和3年度はこれらのごみを片付けていくことからスタートしました。4月に入ても、春の嵐は周期的にやってきて、4月17日に続いて、最後はゴールデンウィーク初日の4月30日に襲来し、ごみの多い連休となってしまいました。

### 5~7月 海外からの漂流ごみの漂着が続く

5月から7月にかけて、黒潮に乗ってきた海外からの漂流ごみが多く漂着しました。普段見かけない漁具やペットボトルなどが、海からの風が吹く度に沖合からやって来ました。雨が降ったタイミングで漂着する陸からのごみとは異なり、いつ上がってくるか分からないのと、漁網のような処理困難物が多くあり、非常に悩まされました。



### 5月 高分子吸水ポリマーが大量漂着



5月18日、三浦市／横須賀市和田長浜と三浦市諸磯海岸に高分子吸水ポリマーと思われるモノが大量に漂着しました。ロウソクの蝋より少し柔らかい感触で、細かなフレーク状になっており、回収するのが非常に大変でしたが、約20kg回収しました。

### 5月～10月 例年以上のバーベキューごみ

5月から10月まで海岸に放置されたバーベキューごみが非常に多かったです。

コロナ禍の影響もあり、海岸でのバーベキューは近場で楽しめる屋外レジャーとして大人気で、それまでなかったマイナーな海岸までバーベキューごみが目立ちました。そのあまりの酷い状況にニュース番組にも取り上げられました。



### 7～8月 ニつの豪雨でごみが多かった夏



夏は、7月初頭と8月お盆の二つの豪雨により、大量のごみが漂着しました。

どちらも、雨の直後は、海からの南風が吹かず、多くのごみが沖合に漂ったままで、海岸へのごみの漂着は限定的でした。

しかし、その後は南風が吹き続け、沖合のごみがダラダラと海

岸に打ちあがり、清掃しても翌日には元通りになってしまう状況でした。

また、山間部でより多くの雨を記録した8月の豪雨では、山間部から流出した流木が、強い南西風によって、相模湾の東側の海岸に大量に漂着しました。

### 9月 小田原にクジラが漂着



9月13日、小田原市前川海岸にクジラの死骸が漂着しました。

体長は15メートルほどで、マッコウクジラの成体とみられ、漂着時にはかなり腐敗が進んだ状態でした。

クジラの死骸は、研究者によって解剖調査された後、海岸に埋却処理されました。

### 9月・10月 台風14号と16号が接近



9月18日、台風14号の接近で、県内の河川で一時氾濫危険水位を超えるほどの激しい雨が降り、相模湾沿岸には人工ごみ混じりの木くずが大量に漂着しました。

そのごみがやっと片付いてきた10月1日には、台風16号が接近し、14号同様激しい風雨をもたらした影響で、海岸は元のごみ

だらけの状態に戻ってしまいました。

この二つの台風の影響で、浄化槽の中にある微生物を付着させる役目を持つ「担体」というプラスチック製の輪が流出し、海岸各所で大量に発見されました。

### 11月・12月 月初の大雪でごみが大量に漂着

例年、ごみの漂着が落ち着く11月と12月ですが、11月は9日に、12月は1日に大雨が降り、前記の10月と合わせて、一ヶ月ごとにせっかくキレイになった海岸が汚れてまた清掃することを繰り返しました。

11月は降雨直後に強い南西風が吹いたため、逗子や鎌倉など相模湾の南西向きの海岸にごみが多く漂着しました。また、12月は、降雨後の風が真南だったので、偏りはあまりなく沿岸全域にごみが漂着しました。



### 12月～2月 安定した天気が続く。相模湾側はキレイで、東京湾側はごみが多い



12月から年が明けた2月まで安定した天気が続き、相模湾沿岸は、キレイな状態が続きました。

相模湾側では、海岸の多くが南に向いているため、たとえ雨が降って陸から海へとごみが流れ出ても、冬の北風が海から海岸にごみが打ち寄せるのをブロックします。

それと真逆なのが、東京湾側の北向きの海岸です。北風によって湾内に浮いているごみが海岸に吹き寄せ続け、連日、

ごみの漂着が止まりませんでした。

特に酷かったのが、横須賀市走水海岸や旗山崎海岸、三浦市唐池海岸。これらの海岸は、海岸線の端に位置し、北風の風下にあたるため、北風によって沿岸域のごみが吹きだまりやすく、風が強い日は、清掃しているそばからごみが上がってくる状況で、冬の間は、キレイにしてもすぐにごみだらけの状態に戻ってしまうことが繰り返されました。

### 2月・3月 クギが大量に露出



春先の強い南西風によって海岸の表面の砂が飛んで、砂の中から「クギ」が大量に出てきました。

これは、夏の海の家の解体時に砂浜に落ちたモノで、古いクギだけでなく、新しいものもかなりあり、海の家が建つ全ての海岸で見つかります。

美化財団では、毎年千本単位で回収していますが、なかなか減らないのが現状です。

### 財団直営部隊における海岸清掃事業

7月から3月までの162日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。

直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、約201トンのごみを回収することができました。



### 令和4年度海岸清掃委託業者一覧

エリア	委託業者	エリア	委託業者	エリア	委託業者
横須賀・三浦	株式会社ユウアイ	鎌倉・藤沢	株式会社出羽商会	平塚・大磯	株式会社綜合サービス
三浦	有限会社阪本五一商店	藤沢	株式会社フジカッター	小田原	小泉建設株式会社
葉山	株式会社ユウアイ	藤沢	協和通商株式会社	真鶴	有限会社平田建設工業
逗子	協和通商株式会社	茅ヶ崎	有限会社小嶋クリーンサービス	海岸砂防林	株式会社出羽商会
鎌倉	株式会社共栄商社	平塚	株式会社柏木組土木	海岸砂防林	株式会社幸友造園土木

このほか、各地のシルバー人材センター、生きがい事業団、地元町内会などにも、海岸清掃にご協力いただいています。

## 美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で春の県下一斉ビーチクリーンアップは限定開催、秋は中止しました。また、学校の総合学習の時間を活用した出前授業(学校キャラバン)を積極的に行い、件数・人数とも前年度の2倍以上に回復しました。さらに、Z世代と呼ばれる大学生等の若い世代の環境活動や卒業論文作成等に協力しただけでなく、オンラインで講演を行ったり、SNSからの情報発信を強化したり、マスメディアを通した啓発を積極的に展開し、より多くの方々に海岸美化を呼びかけました。



## 春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、春の「ビーチクリーンアップかながわ2021」は、8会場での限定開催となりました。また、秋の「国際海岸クリーンアップ」は中止しました。

### ビーチクリーンアップかながわ 2021 結果概要

実施期間	令和3年5月15日～6月12日
開催会場	神奈川県内8会場
参加人数	488名
ごみ回収量	505 kg (可燃:190 kg / 不燃:315 kg)
主 催	公益財団法人かながわ海岸美化財団
共 催	横須賀市・平塚市・藤沢市・逗子市・三浦市 葉山町・大磯町・二宮町
後 援	神奈川県
協 力	各ボランティア団体

## 環境学習の推進

学校の総合学習の時間を活用した環境出前授業「学校キャラバン」、企業の環境貢献活動や大学生のインターンシップ等の受入れを行いました。また、海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場からの講演も実施し、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

内 容	件数	参加人数
学校キャラバン	64 件	3,187 名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	17 件	257 名
中学生の職業体験の受入れ	1 件	2 名
大学生のインターンシップの受入れ	2 件	3 名
大学生等の環境活動や卒業論文作成等への協力	12 件	24 名
教職員体験研修の受入れ	1 件	1 名
講演等の実施	10 件	375 名

### 学校キャラバン [ 実施例：藤沢市立保野小学校 ]



11月25日、藤沢市立保野小学校へ学校キャラバンに行ってきました。

対象の4年生は、社会科の学習の一環でごみについて学んでいて、7月には藤沢市のごみ収集車を呼んでごみの分別についての体験学習もしたそうです。

そのため、ごみに対する関心が高い中、ごみが海に流れついてしまう仕組みや、自分にできる「ごみ対策」などのきっかけづくりとなる授業をすることができました。

**企業等の環境貢献活動等の受入れ [ 実施例：株式会社オカムラ ]**



11月1日、株式会社オカムラの企業研修を受け入れました。財団職員が海洋プラスチックごみについてレクチャーした後、逗子海岸でマイクロプラスチックを中心に集めるビーチクリーンを実施しました。体験を通して、海岸ごみの実態をより深く理解していただきました。

**大学生インターンシップの受入れ [ 実施例：桜美林大学 ]**

3月7日～11日の5日間、桜美林大学からのインターンシップ生2名を受け入れました。2名は、財団職員に同行して海岸パトロールや清掃作業だけでなく、企業との打合せに同席したり、オンラインでアジア各国の海ごみ対策のプレゼンテーションに参加したり、海岸美化に関する仕事を幅広く体験しました。



**大学生等の環境活動や卒業論文作成等への協力**

**協力先**

慶應義塾大学	関東学院大学	横浜国立大学
産業能率大学	名古屋市立大学	文教大学
駒澤大学	東海大学	横浜デザイン学院
玉川大学	横浜国立大学大学院	創価大学

海岸ごみ等を研究テーマとする大学生等に対し、環境活動の支援や卒業論文作成の協力を行いました。テーマは海ごみ削減の方法から神奈川県の海岸ごみの回収・処理の仕組み、アートによる啓発の可能性まで多岐にわたりました。



**中学生の職業体験の受入れ [ 茅ヶ崎市立第一中学校 ]**



11月9日、茅ヶ崎市立第一中学校2年生2名の職業体験を受け入れました。当日はあいにくの雨模様で、海岸での清掃作業ができなかつたため、終日、室内で簡単な事務作業を行ったり、美化財団オリジナルカレンダーの発送準備作業を体験しました。

### 教職員体験研修の受入れ



8月3～4日の2日間、神奈川県教育委員会の教職員体験研修を1名受け入れました。

財団職員と一緒に海岸をパトロールし、ごみの漂着状況を確認するだけでなく清掃作業にも従事し、体験を通して、海岸ごみの実態の認識を深めていただきました。

### 講演等の実施[実施例：リビエラ逗子マリーナ ONE ETHICAL]

#### 講演等の実施:10件

海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から、対面やオンラインで講演を行いました。

8月講演では、日々の清掃現場で撮影した写真などを活用してビジュアルで相模湾のごみの現状を解説するだけでなく、それらのごみがどこから来ているのか、そして、私たちが出来ること等を解説しました。

また、映像だけでなく、マイクロプラスチックなどのごみの実物も用意し、海のごみ問題をより具体的に理解していただきました。



### FM ヨコハマ「SHONAN by the Sea」に出演

#### マスメディア等を利用した広報の展開:27件



5月30日、FMヨコハマの日曜朝の生放送プログラム「SHONAN by the Sea」のコーナー『ビー散歩』に出演しました。

リポーターの小川コータ & とまそんのお二人は、普段からビーチクリーンしているだけでなく、その日も放送前に藤沢市辻堂海岸でビーチクリーンをして、その日の海岸を把握した上で、インタビューをされたので、美化財団職員も目の前の海の状況から神奈川県全体のごみについて、スムーズに話を展開することができました。

◀小川コータ & とまそんさんと財団職員（写真提供：FM ヨコハマ）

### パネル展の開催 [ 実施例：茅ヶ崎市立図書館「図書館で学ぶ気候変動と SDGs」 ]

#### パネル展 開催件数: 12 件

各所でパネル等を展示し、海岸美化を呼びかけました。

夏期に、夏休みの宿題応援として、茅ヶ崎市立図書館で気候変動問題やSDGsについて学べる企画の一環として、海岸ごみのパネルやプラスチックごみのボトル等の展示を行いました。



## ワークショップの開催

8月11日・13日、リビエラ逗子マリーナ「ONE ETHICAL」でマイクロプラスチックを材料とした万華鏡づくりのワークショップを開催しました。カラフルな小さなプラスチックは全て海岸で拾ってきたモノで、それらが環境中にずっと残ってしまうことなどを説明し、作りながら学べるワークショップとなりました。



## SNSを活用した情報発信とボランティアとの連携



財団公式Facebookページの運用を強化し、海岸の状況等をタイムリーに発信することにより、令和4年3月31日現在8,800人の購読者を得ています。

SNSを活用して財団が海岸ごみ情報を発信すると、それを見たボランティアが即座に反応、翌日には、各所でボランティア

が集めたごみが山になっていました。その後、残りの木くずを財団が重機などを使用して一気に片づけ、連携のおかげで非常に効率的な海岸清掃が実現できています。

<https://www.facebook.com/bikazaidan/>



## コットンエコバッグプレゼントキャンペーンの実施



神奈川トヨタ商事株式会社様と神奈川ハマタイヤ株式会社様のご協賛をいただき、オリジナルコットンエコバッグを作成しました。

このエコバッグは環境学習やイベントなどで配布しました。

## レジ袋の売上を海岸美化活動へ寄付

かながわプラスごみゼロ宣言の方向性に沿って、レジ袋の売上を海岸美化活動へ寄付することを呼びかけ、賛同した株式会社京急ストア様、相鉄ローゼン株式会社様、大黒屋様からご寄付をいただきました。

【各事業者】  
レジ袋の有料化



### 美化団体支援事業 概要

海岸清掃ボランティアに対し、ごみ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。コロナ禍の影響で4万人弱まで激減したボランティア数は、約10万人まで回復しました。定期的に活動する個人ボランティアが大幅に増えたことにより、ボランティアによる広範囲で高頻度の清掃が実現しました。

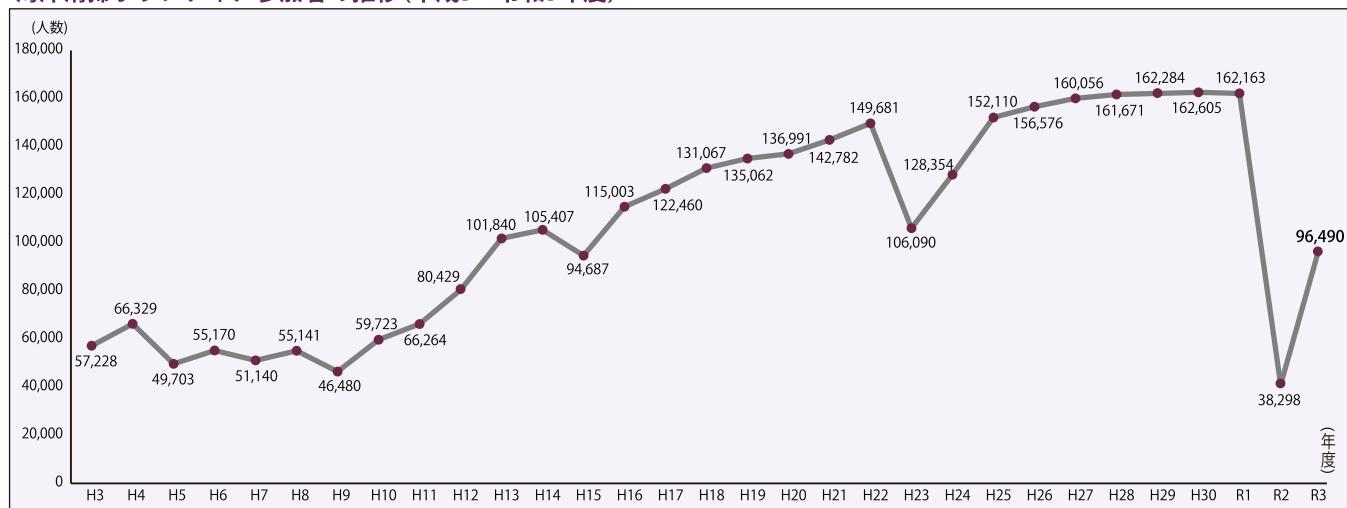
また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に毎年開催している、「海岸美化団体等交流会」は前年度同様、オンラインで開催しました。



(株式会社オオスミの皆さん)

### 海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移(平成3～令和3年度)



海岸清掃ボランティア参加者の内訳(令和3年度と令和2年度)

年度	令和3年度			令和2年度			
	区分	件数	参加者数	割合 (%)	件数	参加者数	割合 (%)
地域団体	110	8,629	8.9		58	5,741	15.0
環境団体	234	29,275	30.3		153	11,861	31.0
学校・教育	146	6,789	7.0		68	2,751	7.2
行政	7	1,245	1.3		0	0	0.0
企業等	240	6,026	6.3		116	3,213	8.4
マリン	107	20,797	21.6		85	8,612	22.5
その他	1,628	23,729	24.6		479	6,120	15.9
合計	2,472	96,490	100.0		959	38,298	100.0

定期清掃と隨時清掃(令和3年度と令和2年度)

年度	令和3年度		令和2年度		
	区分	件数	人数	件数	人数
定期清掃		296	47,801	88	15,460
隨時清掃		2,176	48,689	871	22,838
合計		2,472	96,490	959	38,298

## 個人ボランティアが躍進

### 個人・団体別ボランティア申込件数の推移

年度	個人	団体	合計
2017	122	1,100	1,222
2018	127	1,143	1,270
2019	171	1,185	1,356
2020	286	673	959
2021	1,412	1,060	2,472

2021年度は、ビーチクリーンボランティアの個人へと広がりが一気に加速しました。これまで、ビーチクリーンの申込件数の過去最高は、2019年度の1,356件でした。2021年度は2,000件を超え、2,472件となりましたが、その増えた分のほとんどが個人でした。増えた個人ボランティアの中心は、社会人とZ世代と呼ばれる若い世代です。海ごみへの関心の高まりと、リモートで時間に余裕ができたのが相まって、ボランティア活動に繋がったと思われます。個人ボランティアは、平日でもごみの多い場所で活動でき、機動性と即応性が高いのが特徴で、神奈川県の海岸美化の大きな力となっています。

## オンライン交流会を開催



3月5日(土)に「2022オンライン交流会 supported by 湘南電力」を開催し、225名の参加がありました。この交流会では、「アップサイクル」「Z世代」「地域づくり」というキーワードを具現化するをコンセプトに、先駆的に活動されている3名の方にご登壇いただきました。テラサイクルのエリック・カワバタさんからは、世界のごみの実情から、実際の海洋プラスチックのアップサイクル事業に

ついて解説していただきました。NAMIMATIの斎藤克希さんからは、Z世代ならではのSNSを活用したプロジェクトを紹介していただきました。湘南電力株式会社の土井悠史さんには、再生可能エネルギーを活用した地域づくりなどを紹介していただきました。どの講演・活動発表でも、参加者から多くの質問が寄せられ、闘闘な質疑応答が展開されました。

## 海岸美化募金の募集

神奈川県産の間伐材の木製スタンドを使用したオリジナルカレンダー「by the sea」を作成しました。会員特典とするほか、海岸美化募金の寄付者にも配布し、857,983円の募金をいただきました。



## ボランティア団体等の表彰について

国・県からの依頼を受けて財団が推薦したボランティア団体等が各表彰を受賞されました。

### 表彰名と受賞団体

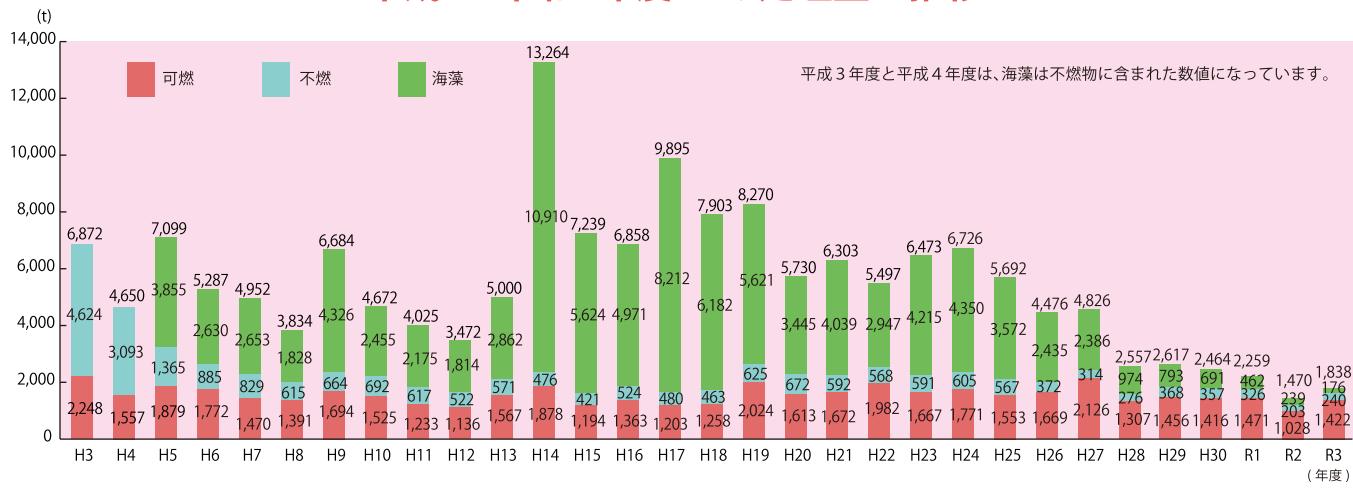
海をきれいにするための一般協力者 国土交通大臣表彰
諸磯の海100年先まで残す会
神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰
神奈川野生動物救護連絡会
神奈川県湘南地域県政総合センター所長表彰
株式会社新江ノ島水族館

## 令和3年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位:kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
横須賀市	可燃	120,670	125,719	可燃	1,470	1,640	可燃	122,140	127,359
	不燃	4,289		不燃	170		不燃	4,459	
	海藻	760		海藻	0		海藻	760	
三浦市	可燃	36,445	40,310	可燃	3,900	9,860	可燃	40,345	50,170
	不燃	3,165		不燃	1,920		不燃	5,085	
	海藻	700		海藻	4,040		海藻	4,740	
葉山町	可燃	38,059	44,260	可燃	6,520	8,030	可燃	44,579	52,290
	不燃	6,201		不燃	1,510		不燃	7,711	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
逗子市	可燃	77,470	84,340	可燃	2,890	3,720	可燃	80,360	88,060
	不燃	4,470		不燃	830		不燃	5,300	
	海藻	2,400		海藻	0		海藻	2,400	
鎌倉市	可燃	106,520	259,820	可燃	49,460	54,810	可燃	155,980	314,630
	不燃	11,100		不燃	5,350		不燃	16,450	
	海藻	142,200		海藻	0		海藻	142,200	
藤沢市	可燃	487,930	566,600	可燃	4,640	8,310	可燃	492,570	574,910
	不燃	54,670		不燃	3,670		不燃	58,340	
	海藻	24,000		海藻	0		海藻	24,000	
茅ヶ崎市	可燃	68,370	144,610	可燃	30,460	43,000	可燃	98,830	187,610
	不燃	76,240		不燃	12,540		不燃	88,780	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
平塚市	可燃	141,270	145,650	可燃	29,140	48,015	可燃	170,410	193,665
	不燃	4,380		不燃	18,875		不燃	23,255	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
大磯町	可燃	102,050	110,280	可燃	12,290	18,480	可燃	114,340	128,760
	不燃	8,230		不燃	6,190		不燃	14,420	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
二宮町	可燃	2,440	4,831	可燃	6,625	10,525	可燃	9,065	15,356
	不燃	675		不燃	3,900		不燃	4,575	
	海藻	1,716		海藻	0		海藻	1,716	
小田原市	可燃	36,105	40,115	可燃	20,825	24,295	可燃	56,930	64,410
	不燃	4,010		不燃	3,470		不燃	7,480	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
真鶴町	可燃	19,420	19,855	可燃	15,130	19,120	可燃	34,550	38,975
	不燃	435		不燃	3,990		不燃	4,425	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
湯河原町	可燃	760	966	可燃	810	930	可燃	1,570	1,896
	不燃	206		不燃	120		不燃	326	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
合計	可燃	1,237,509	1,587,356	可燃	184,160	250,735	可燃	1,421,669	1,838,091
	不燃	178,071		不燃	62,535		不燃	240,606	
	海藻	171,776		海藻	4,040		海藻	175,816	

## 平成3～令和3年度 ごみ処理量の推移



# パートナーシップ

## 会員の状況

会員別一覧（令和4年5月31日現在）

区分	会員数	口数
法人・団体	10口以上（特別法人・団体会員）	60
	1~9口	102
個人	319	1,023

新規会員（令和4年5月31日現在／順不同）

区分	法人・団体名
特別法人・団体	株式会社スターライン
	神奈川トヨタ商事株式会社
	藤沢市資源循環協同組合
	株式会社BioAid
	学校法人 岩崎学園
	東京九州フェリー株式会社
	株式会社ヤマリア
	株式会社ORBLET LIFE
	一般社団法人FPあんしんファミリーサポート
	あかりホームクラフト株式会社
	ディーワークス株式会社
	株式会社cielo azul
	株式会社スペシャルメディア
	株式会社ローソン
	逗子マリン連盟
法人・団体	空創工房リ・メイクハウス株式会社
	株式会社アクアリーフ
	ウォータースタンド株式会社
	株式会社アルベロ・ブル
	Zyi Zyi's 合同会社
	神谷コーポレーション株式会社
	藤沢市倫理法人会
	ラ・ボンバ神奈川
	新湘南室内合奏団
	品川インターナショナルスクール
個人	Juniper Network
	神奈中観光株式会社
個人	129人

令和3年度も、さまざまな形で多くの個人、企業・団体様とパートナーシップを結び、海岸清掃ボランティアへのごみ袋の提供や美化啓発イベントなどを実施し、海岸美化を推進できました。

財団では、隨時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。

会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

## 協賛の状況

協賛一覧（令和4年5月31日現在／順不同）

区分	法人・団体名
物品協賛	日本サニパック株式会社
	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	公益財団法人小田急財団
	中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
寄付金・協賛金（団体）	株式会社京急ストア
	相鉄ローゼン株式会社
	株式会社三菱UFJ銀行
	株式会社ORBLET LIFE
	トシズブレイス株式会社
	有限会社がんこ本舗
	株式会社クオカード
	神奈川トヨタ商事株式会社
	神奈川ハマタイヤ株式会社
	藤沢西ロータリークラブ
	株式会社新江ノ島水族館
	大器株式会社
	株式会社オカムラ
	茅ヶ崎アーシングマーケット
	株式会社横浜銀行
	BBQ太郎 神奈川湘南店
	地方職員共済組合 (QUPIO PLUS ポイントプログラム)
	マルシェパワー横浜株式会社
	バリュークリエーション株式会社 Div.2
	株式会社湘南なぎさパーク
	大黒屋
	株式会社リコー
	ミラクルズ
	株式会社ジャックス

## SDGsへの取組み

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。

当財団へのご協賛やご入会は、SDGsの17の目標のうち、12(つくる責任 つかう責任)、14(海の豊かさを守ろう)、17(パートナーシップで目標を達成しよう)の取組みになります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 会員 / 出捐団体

## 特別法人・団体会員

有限会社サニー  
株式会社出羽商会  
株式会社湘南なぎさパーク  
株式会社美装  
協和通商株式会社  
横浜エフエム放送株式会社  
湘南モールフィルテナント会  
株式会社神中運輸  
日本たばこ産業株式会社 神奈川支社  
小田急電鉄株式会社  
京浜急行電鉄株式会社  
株式会社フジカッター  
株式会社ジェイコム湘南・神奈川  
医療法人社団青海会 しんゆり青木整形外科  
株式会社アダストリア  
レモンガス株式会社

株式会社カネダ  
三美興産株式会社  
有限会社がんこ本舗  
株式会社リビエラリゾート  
スポーツクラブNAS株式会社  
相鉄ホールディングス株式会社  
株式会社服部商店  
株式会社鈴廣蒲鉾本店  
馬淵建設株式会社  
川本工業株式会社  
株式会社グリーンルーム  
株式会社フジサワ名店ビル  
テラスモール湘南 テナント会  
生活協同組合 パルシステム神奈川  
上野トランステック株式会社  
株式会社良知経営

株式会社共栄商社  
株式会社ファンケル  
吉川化成株式会社  
第一生命保険株式会社 湘南支社  
一般社団法人神奈川県法人会連合会  
メディカル・エキスパート株式会社  
株式会社栄林  
株式会社京急ストア  
一般社団法人Regional Sports  
株式会社トライアンブル  
株式会社ウエニ貿易  
株式会社新江ノ島水族館  
株式会社オオスミ  
株式会社TBK  
株式会社ウイザースホーム  
株式会社スターイン

神奈川トヨタ商事株式会社  
藤沢市資源循環協同組合  
株式会社 BioAid  
学校法人岩崎学園  
東京九州フェリー株式会社  
株式会社ヤマリア  
株式会社 ORBLETT LIFE  
一般社団法人 FP あんしんファミリーサポート  
あかりホームクラフト株式会社  
ティーウーラス株式会社  
株式会社 cielo azul  
株式会社スペシャルメディア  
(順不同)

## 法人・団体会員

辻堂ゴミゼロクラブ  
特定非常利活動法人日本渚の美術協会  
ダイダン株式会社 横浜支店  
かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」  
TSSA(ザ・サーファーフィングアソシエーション)  
西湘地域連合  
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所  
神奈川県フライシングディスク協会  
一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会  
FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT  
連合神奈川  
湘南地域連合  
公益社団法人平塚青年会議所  
一般社団法人神奈川県バス協会  
神奈川県農業協同組合中央会  
公益財団法人神奈川県都市整備技術センター  
ミキモト労働組合  
公益財団法人相模湾水産振興事業団  
鎌金工業株式会社  
神奈川トヨタ自動車株式会社  
一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所  
住友生命保険相互会社  
株式会社さんこうどう  
神奈川県内広域水道企業団  
社会福祉法人伸こう福祉会  
株式会社ストリームグラフ

スプラッシュストアイズ鎌倉  
アピームコンサルティング株式会社  
JAMBO International Center  
公益財団法人藤沢市みらい創造財団  
有限会社永塚製作所  
一般財団法人横須賀西部水産振興事業団  
公益社団法人大磯町観光協会  
建設廃棄物協同組合  
一般社団法人横須賀市観光協会  
公益社団法人藤沢市観光協会  
株式会社ユーフレアテクノロジー  
公益財団法人神奈川県公園協会  
一般社団法人神奈川県建設事業団  
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会  
一般社団法人平塚市観光協会  
株式会社ヤチヨ  
江ノ島電鉄株式会社  
医療法人社団ピクトリア会 小野歯科医院  
東海大学  
中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所  
73style  
株式会社幸運社  
株式会社汐文社  
株式会社鈴木組  
藤沢商工会議所  
地球を守ろう！

神奈川県中小企業団体中央会  
一般社団法人全国清涼飲料連合会  
茅ヶ崎商工会議所  
鎌倉商工会議所  
平塚商工会議所  
公益財団法人神奈川県産業振興センター  
オイルレスシーアクアラブ  
湘南電力株式会社  
横浜興業株式会社  
三浦商工会議所  
横須賀商工会議所  
小田原箱根商工会議所  
タカラ電機株式会社  
亀井工業ホールディングス株式会社  
小田原市橋商工会  
合同会社サステイン  
平塚信用金庫  
株式会社コア・エレクトロニックシステム  
株式会社城ヶ島水産  
葉山町商工会  
ハヤマステーション  
湯河原町商工会  
大磯町商工会  
逗子市商工会  
真鶴町商工会  
有限会社プライト・シティ・ジャパン

二宮町工商会  
厚木商工会議所  
エコノロジープレイン株式会社  
小川海産物有限会社  
宗教法人 密蔵院  
FSearch Japan 合同会社  
宗教法人神光寺  
イルミス株式会社  
湘南群青  
株式会社 Link-Up  
株式会社ローソン  
逗子マリン連盟  
空創工房リ・マイクハウス株式会社  
株式会社アクアリーフ  
ウォータースタンド株式会社  
株式会社アルベロ・ブル  
Zyi Zyi's 合同会社  
神谷コーポレーション株式会社  
藤沢市倫理法人会  
ラ・ポンバ神奈川  
新湘南室内合奏団  
品川インターナショナルスクール  
Juniper Network  
神奈中観光株式会社  
(順不同)

## 出捐団体

神奈川県  
横須賀市  
平塚市  
鎌倉市  
藤沢市  
小田原市  
茅ヶ崎市  
逗子市  
三浦市  
葉山町  
大磯町  
二宮町  
真鶴町  
湯河原町

株式会社旭廣告社  
アルソア本社株式会社  
大塚製薬株式会社  
小田急電鉄株式会社  
株式会社神奈川新聞社  
キリンビール株式会社  
京浜急行電鉄株式会社  
相模鉄道株式会社  
サッポロビール株式会社  
ENEOS株式会社  
株式会社商船三井  
スルガ銀行株式会社  
株式会社そごう・西武  
損害保険ジャパン株式会社

宝酒造株式会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
東京ガス株式会社  
東京電力ホールディングス株式会社  
あいおいニッセイセイ同和損害保険株式会社  
三菱UFJニコス株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
東日本電信電話株式会社 神奈川支店  
株式会社美装  
AIG損害保険株式会社  
日本コカ・コーラ株式会社  
株式会社みずほ銀行  
三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社横浜銀行

神奈川県農業協同組合中央会  
生活協同組合ユーコープ  
逗子仏教会  
全国労働者共済生活協同組合連合会  
(順不同)

**Sclean vol.30** 令和4年6月発行  
企画・発行 公益財団法人かながわ海岸美化財団  
印刷 有限会社湘南グッド  
〒253-0033 茅ヶ崎市汐見台1-7  
Tel 0467-87-5379

supported by [特別法人・団体会員] (順不同)

